

■コメント

1. RSウイルス感染症

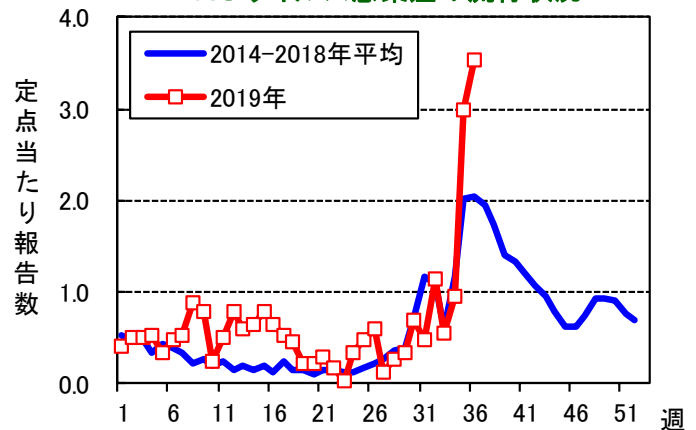
定点当たり3.54人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。

手洗いの励行、咳などの症状がある場合にはマスクを着用する、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

21人(定点当たり0.57人、迅速診断キット:A型陽性18人、B型陽性3人)の報告がありました。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	21	0.57	0.08	↑	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.62	◇
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.37	↓	眼科	RSウイルス感染症	85	3.54	2.04	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	1.69	◇		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	94	3.92	3.70	◇		流行性角結膜炎	6	0.75	0.98	
	水痘	3	0.13	0.46		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	53	2.21	1.96	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	7	0.29	0.13	↓		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
	突発性発しん	12	0.50	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	36	1.50	0.69	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

(※) インフルエンザのシーズンは、第36週～翌年第35週です。第36週より、2019/20シーズンとなります。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	118	男性(80歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	8	男性(10歳未満)・O103、女性(10歳未満)・O103、男性(30歳代)・O157
4	デング熱	1	4	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
5	ウイルス性肝炎	1	7	女性(40歳代)・B型
5	梅毒	1	61	男性(20歳代)
5	百日咳	7	62	男性(10歳代未満)・2人、女性(10歳未満)・2人、男性(10歳代)・2人、男性(50歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第32週 第33週 第34週 第35週 第36週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性発 しん	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタ ウイルス)
			8 3 3 9 21	13 5 9 19 7	29 20 32 21 26	80 39 91 89 94	12 4 6 3 3	93 23 29 39 53	5 1 17 17 7	12 6 8 9 12	29 14 15 24 36	1 1 1 3 1	25 11 22 69 85	- 1 3 7 -	4 3 3 7 6	- - - - -	- - - - -	- - 1 - -	- - - - -	- - - - -
定点 当 たり	広島市	第32週 第33週 第34週 第35週 第36週	0.25	0.59	1.32	3.64	0.55	4.23	0.23	0.55	1.32	0.05	1.14	-	0.67	-	-	-	-	-
			0.09	0.25	1.00	1.95	0.20	1.15	0.05	0.30	0.70	0.05	0.55	0.14	0.43	-	-	-	-	-
全国	第34週 第35週	第34週 第35週	0.08	0.39	1.39	3.96	0.26	1.26	0.74	0.35	0.65	0.04	0.96	-	0.38	-	-	-	-	-
			0.25	0.83	0.91	3.87	0.13	1.70	0.74	0.39	1.04	0.13	3.00	-	0.88	-	-	0.14	-	-
全国	第34週 第35週	第34週 第35週	0.57	0.29	1.08	3.92	0.13	2.21	0.29	0.50	1.50	0.04	3.54	-	0.75	-	-	-	-	-
			0.24	0.41	1.09	2.97	0.24	2.75	0.63	0.46	1.00	0.09	1.37	0.01	0.84	0.02	0.06	0.23	-	0.01
全国	第34週 第35週	第34週 第35週	0.39	0.43	1.23	3.09	0.16	3.05	0.71	0.41	1.21	0.09	2.43	0.01	0.79	0.01	0.04	0.24	-	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

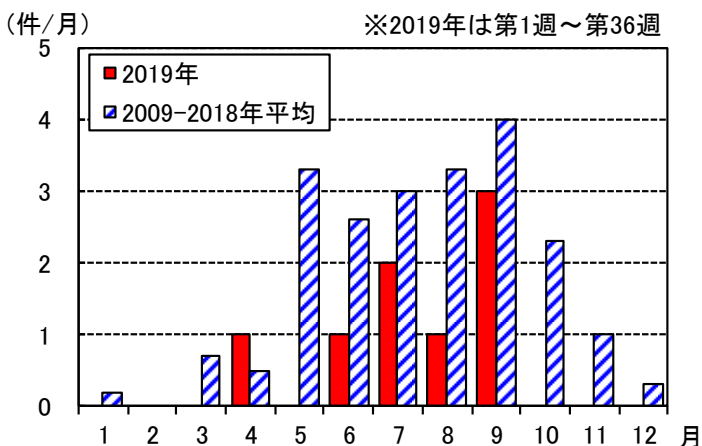
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.5) 発疹 口内炎	0	女	2019/07/29	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	発熱(40.0) 丘疹 口内炎	1	女	2019/07/30	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	0	男	2019/07/04	糞便 尿 鼻汁	コクサッキーウイルスB5型
その他の消化器疾患	腹痛	1	男	2019/07/29	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.7) 咽頭炎 筋肉痛	30	男	2019/07/13	咽頭拭い液 糞便	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.4)	0	女	2019/07/18	咽頭拭い液	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.4)	0	女	2019/07/19	糞便 鼻汁	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.0) 発疹	0	男	2019/07/19	糞便	パレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★ 腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！！

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)



第36週に3件の報告があり、今年の累計は8件となりました。例年5月から10月にかけて報告数が多くなっています。

腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して少ない菌量でも感染します。手洗いの励行、食品の十分な加熱など、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】厚生労働省「腸管出血性大腸菌感染症Q&A」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第36週(9月2日～9月8日)